



(2019. 10. 24)発行

学校法人 帯広葵学園

こどもの絵

所長 外館 昭良

絵を描くことには個人差がありますが、1歳ころから、子どもにクレヨンを持たせると、画用紙に点々や線を描くことがあります。これは、『絵』を描いているのではなく、手の運動をしているのです。手を使い始めて動かすことが楽しくて、クレヨンという道具を渡すと、どんどん手を使うようになります。その内に手の可動域が広くなり、手の動きをコントロールできるようになると、曲線が出るようになります。

2歳頃になると、筆圧も強くなり、しっかりとした〇丸を描けるようになる子が増えてきます。そして、描いた〇丸に後で意味を付けて、「これ、ママ。」「これ、パパ。」などとお話してくれます。この時に、きちんと子どもの声に耳を傾けて「ママだね～！描いてくれてありがとう！」などと受け止めてあげると、どんどん〇丸が増えていったりします。逆に「これは、こうやって描くんだよ。」などと、描き方を教え込もうとすると、絵を描く楽しさを失ってしまうかもしれません。この時期は、上手などと評価するのではなく、絵を通して子どもと沢山コミュニケーションをとることが大切です。

殴り描きを十分に楽しむことで、しっかりとした線が描けるようになります。また、絵を描く楽しさを感じることができるようになります。

3歳頃になると、〇丸をたくさん描くようになります。これをファンファーレと呼ぶことがあります。この絵を通してお話をすると、先生Q「これはだ～れ？」子A「これは、ママ。」「これは、パパ。」「これは、じいちゃん」「これは、ばあちゃん」先生Q「みんなで何してるの？」子A「ごはん食べてるの。」などと自分の家族やお友だち、先生など身の回りに居る人や物を、描いた〇丸に後で意味づけするようになってきます。

やがて3歳から4歳にかけて〇丸の中に線や丸で目や口を描く『頭部人間』が出現します。この頭部人間に手や足が生えて『頭足人間』に進化します。この絵の発達の過程は全世界共通という話を聞いたことがあります。不思議ですね。この後、4歳後半頃から同じものをたくさん描くようになり、5歳～6歳にかけて基底線が出現し空と地面がはっきり分かれてくるようになります。

子どもと絵を通してコミュニケーションを沢山取り、話を受け止め共感することで絵を描く楽しさを感じ、お絵描きが大好きになります。皆さんも絵を通してお話をたくさんしてみたいはかがでしようか。



【令和2年度新入園児募集のお知らせ】

令和2年度の新入園児の募集が始まります。西中音更と南中音更は満2歳児から、東土狩保育所は満1歳児からの受付を致します。入所をご希望される方は、各保育所に申込書類を置いてありますので、お声をかけください。申込書類一式をお渡しいたします。



なお、申込期間は、10月30日(水)～11月12日(火)までとなっております。各保育所に申込書類一式をお届け下さい。

申込書類は音更町役場に提出致しますので、お早めにお手続き下さいますようお願い申し上げます。

《発表会が近づいてきましたね！》



西中、南中、東土狩の3事業所ともに、10月より『発表会』の準備を進めています。子ども達は日々劇や歌、踊りなどの練習に一生懸命に取り組んでいるところです。

西中と東土狩は、11月9日(土)、南中は、11月16日(土)に行います。発表会当日は緊張してしまうかもしれませんが、今まで取り組んできた成果をのびのびと元気に発表できるように願っています。皆様の応援をお願い致します。

<10月 あんなこと、こんなこと>

